

23. 輸血検査の依頼にオーダーリングシステムを利用していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	61	19.24%	322	59.52%	385	44.41%
2	利用していない	235	74.13%	187	34.57%	428	49.37%
3	導入を予定している	21	6.62%	32	5.91%	54	6.23%
	合計	317		541		867	

24. 輸血用血液の入庫・出庫管理にコンピュータを利用していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	170	53.63%	490	90.57%	664	76.59%
2	利用していない	140	44.16%	38	7.02%	182	20.99%
3	導入を予定している	7	2.21%	13	2.40%	21	2.42%
	合計	317		541		867	

25. 輸血検査に自動輸血検査機器を利用していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	36	11.36%	288	53.04%	325	37.40%
2	利用していない	268	84.54%	228	41.99%	503	57.88%
3	導入を予定している	13	4.10%	27	4.97%	41	4.72%
	合計	317		543		869	

2) 輸血副作用について

26. 輸血用血液による副作用の報告システムについて

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する	30	9.49%	218	40.15%	251	28.92%
2	薬剤部門に報告する	17	5.38%	16	2.95%	33	3.80%
3	検査部門に報告する	153	48.42%	237	43.65%	395	45.51%
4	院内の委員会などに報告し、検討する	51	16.14%	40	7.37%	91	10.48%
5	病院管理者が個別に把握している	3	0.95%	0	0.00%	3	0.35%
6	主治医にゆだねられている	52	16.46%	26	4.79%	79	9.10%
7	副作用を集計把握するシステムがない	9	2.85%	3	0.55%	12	1.38%
8	その他	1	0.32%	3	0.55%	4	0.46%
	合計	316		543		868	

27. 報告の条件は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	140	45.60%	338	62.71%	483	56.49%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	113	36.81%	137	25.42%	251	29.36%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	22	7.17%	40	7.42%	65	7.60%
4	その他	32	10.42%	24	4.45%	56	6.55%
	合計	307		539		855	

28. 病棟・外来から輸血部門への報告の方法は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	228	74.75%	411	76.11%	646	75.64%
2	コンピュータ入力	6	1.97%	61	11.30%	67	7.85%
3	電話・FAX対応	40	13.11%	47	8.70%	89	10.42%
4	その他	31	10.16%	21	3.89%	52	6.09%
	合計	305		540		854	

29. 報告の率は何%くらいでしょうか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ100%	161	55.14%	275	53.09%	439	53.67%
2	81~99%	21	7.19%	91	17.57%	114	13.94%
3	61~80%	9	3.08%	39	7.53%	48	5.87%
4	41~60%	10	3.42%	23	4.44%	33	4.03%
5	21~40%	3	1.03%	10	1.93%	13	1.59%
6	0~20%	88	30.14%	80	15.44%	171	20.90%
	合計	292		518		818	

30. 重篤な副作用（例えば溶血性副作用やショック発生時など）発生時の輸血部門への緊急連絡体制について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	電話などで輸血担当部署に連絡することとなっている	93	30.10%	269	50.28%	364	42.67%
2	主治医・診療科で対応し、緊急連絡はない	114	36.89%	124	23.18%	241	28.25%
3	整備された緊急対応マニュアルに従って各科が先ず対応する	88	28.48%	123	22.99%	215	25.21%
4	その他	14	4.53%	19	3.55%	33	3.87%
	合計	309		535		853	

31. 副作用発生時の原因製剤回収を行っていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則すべて回収	137	44.92%	239	44.26%	381	44.61%
2	重篤な副作用のみ回収	100	32.79%	243	45.00%	347	40.63%
3	行っていない	40	13.11%	41	7.59%	81	9.48%
4	その他	28	9.18%	17	3.15%	45	5.27%
	合計	305		540		854	

32. 重篤な副作用発生時、輸血責任者・担当者などの対応について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病棟へ出向き主治医と対応策について協議することが多い	108	37.76%	173	33.08%	283	34.64%
2	主に電話で対応し、アドバイスなどをすることが多い	51	17.83%	210	40.15%	261	31.95%
3	特に対応せず主治医・診療科にまかせていることが多い	127	44.41%	140	26.77%	273	33.41%
	合計	286		523		817	

33. 輸血副作用発生症例を血液センターへ報告されていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	報告のあった症例は原則としてすべてセンターへ報告している	106	36.55%	101	19.06%	210	25.33%
2	中等度以上の副作用症例のみ報告している	122	42.07%	364	68.68%	489	58.99%
3	通常はセンターへ報告していない	62	21.38%	65	12.26%	130	15.68%
	合計	290		530		829	

34. 過去1年間に放射線未照射の輸血用血液製剤を使用しましたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	8	2.52%	53	9.81%	63	7.27%
2	いいえ	309	97.48%	487	90.19%	803	92.73%
	合計	317		540		866	

35. 輸血用血液を輸血する前の患者さんの血液検体を保存していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	270	85.71%	506	93.19%	785	90.54%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	34	10.79%	29	5.34%	63	7.27%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	7	2.22%	6	1.10%	13	1.50%
4	保存していない	4	1.27%	2	0.37%	6	0.69%
	合計	315		543		867	

1又は2の場合、保存期間（永久の場合は99.9と記入）

月	300床未満	300床以上	全体(未記入含む)
1ヶ月未満	2	5	7
1ヶ月	11	3	14
1.5ヶ月	0	1	1
2ヶ月	3	2	5
3ヶ月	17	15	32
4ヶ月	3	4	7
5ヶ月	0	1	1
6ヶ月	29	24	54
7ヶ月～11ヶ月	3	5	8
12ヶ月	38	55	94
13ヶ月～23ヶ月	2	13	15
24ヶ月	99	276	377
25ヶ月～35ヶ月	1	2	4
36ヶ月	11	26	37
37ヶ月～47ヶ月	0	1	1
48ヶ月	2	2	4
60ヶ月	10	19	29
72ヶ月	1	0	1
120ヶ月	1	7	8
240ヶ月	0	3	3
永久保存	36	36	74

36. 輸血用血液を輸血する前に患者さんの感染症の検査をしていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	227	71.61%	392	73.68%	624	72.73%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	65	20.50%	110	20.68%	178	20.75%
3	していない	25	7.89%	30	5.64%	56	6.53%
	合計	317		532		858	

37. 問 36 で「1 原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている」場合、感染症の検査項目は複数回答項目

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原	226	97.84%	401	98.77%	632	98.44%
2	HBs 抗体	74	32.03%	172	42.36%	249	38.79%
3	HBc 抗体	65	28.14%	151	37.19%	219	34.11%
4	HBV-DNA 核酸増幅検査 (NAT)	0	0.00%	4	0.99%	4	0.62%
5	HCV 抗体	221	95.67%	394	97.04%	620	96.57%
6	HCV コア抗原	53	22.94%	131	32.27%	187	29.13%
7	HCV-RNA 核酸増幅検査 (NAT)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
8	HTLV- I 抗体	6	2.60%	23	5.67%	29	4.52%
9	HIV 抗体	92	39.83%	216	53.20%	311	48.44%
10	梅毒	162	70.13%	274	67.49%	439	68.38%

38. 輸血用血液を輸血した後に患者さんの感染症の検査をしていますか

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	106	34.08%	217	41.02%	325	38.33%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	148	47.59%	266	50.28%	417	49.17%
3	していない	57	18.33%	46	8.70%	106	12.50%
	合計	311		529		848	

39. 問 38 で「1 原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている」場合、感染症の検査項目は複数回答項目

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原	48	39.34%	74	30.71%	123	33.61%
2	HBs 抗体	11	9.02%	22	9.13%	34	9.29%
3	HBc 抗体	10	8.20%	20	8.30%	31	8.47%
4	HBV-DNA 核酸増幅検査 (NAT)	72	59.02%	176	73.03%	250	68.31%
5	HCV 抗体	44	36.07%	66	27.39%	111	30.33%
6	HCV コア抗原	76	62.30%	177	73.44%	256	69.95%
7	HCV-RNA 核酸増幅検査 (NAT)	4	3.28%	11	4.56%	15	4.10%
8	HTLV- I 抗体	5	4.10%	16	6.64%	21	5.74%
9	HIV 抗体	101	82.79%	215	89.21%	319	87.16%
10	梅毒	24	19.67%	35	14.52%	60	16.39%

40. 血漿分画製剤による副作用の報告システムについて

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する	11	3.56%	35	6.64%	47	5.56%
2	薬剤部門に報告する	119	38.51%	271	51.42%	393	46.51%
3	検査部門に報告する	33	10.68%	39	7.40%	72	8.52%
4	院内の委員会などに報告し、検討する	43	13.92%	32	6.07%	75	8.88%
5	病院管理者が個別に把握している	1	0.32%	1	0.19%	2	0.24%
6	主治医にゆだねられている	82	26.54%	99	18.79%	184	21.78%
7	副作用を集計把握するシステムがない	15	4.85%	41	7.78%	58	6.86%
8	その他	5	1.62%	9	1.71%	14	1.66%
	合計	309		527		845	

41. 報告の方法は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	158	55.63%	279	57.41%	440	56.77%
2	コンピュータ入力	9	3.17%	21	4.32%	30	3.87%
3	電話・FAX対応	68	23.94%	130	26.75%	199	25.68%
4	その他	49	17.25%	56	11.52%	106	13.68%
	合計	284		486		775	

42. 血漿分画製剤を使用する前に、患者さんの血液検体を保存していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	43	14.24%	40	7.65%	84	10.07%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	12	3.97%	6	1.15%	18	2.16%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	84	27.81%	127	24.28%	213	25.54%
4	保存していない	163	53.97%	350	66.92%	519	62.23%
	合計	302		523		834	

1又は2の場合、保存期間（永久の場合は99.9と記入）

月	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1ヶ月未満	2	1	3
1ヶ月	3	1	4
2ヶ月	0	1	1
3ヶ月	4	4	8
4ヶ月	0	1	1
6ヶ月	3	3	6
12ヶ月	9	5	14
13ヶ月～23ヶ月	0	1	1
24ヶ月	14	20	34
25ヶ月～35ヶ月	0	1	1
36ヶ月	2	2	4
37ヶ月～47ヶ月	0	1	1
48ヶ月	1	0	1
60ヶ月	2	1	3
120ヶ月	0	1	1
永久保存	2	1	3

43. 血液型検査は、同一患者の異なる時点での2検体で検査を行っていますか（同一患者の2重チェック）

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	必ず行っている	212	66.88%	429	79.74%	645	74.65%
2	行っていない	105	33.12%	109	20.26%	219	25.35%
	合計	317		538		864	

44. 緊急輸血時にはO型赤血球MAPを、交差試験を省略して使用していますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	15	4.76%	166	30.51%	182	20.97%
2	使用していない	188	59.68%	144	26.47%	335	38.59%
3	未だ使用していないが、マニュアルで使用を明記	112	35.56%	234	43.01%	351	40.44%
	合計	315		544		868	

45. 過去1年間（2006年1月1日～2006年12月31日）に輸血過誤によるABO型異型輸血が発生しましたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	8	1.48%	8	0.92%
2	ない	317	100.00%	532	98.52%	858	99.08%
	合計	317		540		866	

「1.ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	0	8	8

46. ABO 異型輸血以外の溶血性副作用が、過去1年間で発生しましたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	0.32%	23	4.34%	25	2.95%
2	ない	308	99.68%	507	95.66%	823	97.05%
	合計	309		530		848	

「1.ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	0	22	23
10	1	0	1

47. 輸血細菌感染症が疑われたとき原因製剤の細菌培養検査を院内で行っていますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	55	19.10%	210	40.31%	267	32.68%
2	特に行っていない	233	80.90%	311	59.69%	550	67.32%
	合計	288		521		817	

48. 過去1年間に輸血による細菌感染症を経験されましたか（疑い例も含む）

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	5	1.62%	13	2.40%	18	2.10%
2	ない	303	98.38%	529	97.60%	841	97.90%
	合計	308		542		859	

「1.ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	4	10	14
2	0	2	2
3	1	1	2

49. 輸血によるウイルス感染症（HBV、HCV、HIV）やマラリア・その他の寄生性感染症が疑い例も含めて、過去1年間に発生しましたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	7	2.28%	61	11.44%	69	8.13%
2	ない	300	97.72%	472	88.56%	780	91.87%
	合計	307		533		849	

「1.ある」場合、「HBV」の症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	3	40	44
2	0	5	5

「1.ある」場合、「HCV」の症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	4	14	18
2	0	2	2

「1.ある」場合、「HIV」の症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	1	2	3

「1.ある」場合、「その他」合の症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	0	4	4

50. ウイルス感染症や寄生性感染症の症例報告について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤十字血液センターに報告した	12	8.76%	78	29.89%	91	22.69%
2	厚生労働省に報告した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	赤十字血液センターと厚生労働省の両方へ報告した	2	1.46%	11	4.21%	13	3.24%
4	両方とも報告をしていない	123	89.78%	172	65.90%	297	74.06%
	合計	137		261		401	

51. 輸血関連急性肺障害（TRALI）の副作用をご存じでしたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	よく知っている	103	33.12%	331	61.52%	440	51.28%
2	少しは知っている	127	40.84%	181	33.64%	310	36.13%
3	聞いたことがある程度	75	24.12%	22	4.09%	98	11.42%
4	聞いたことがない	6	1.93%	4	0.74%	10	1.17%
	合計	311		538		858	

52. 過去1年間に輸血関連急性肺障害（TRALI）を経験されましたか（疑い例も含む）

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	10	3.19%	60	11.11%	71	8.24%
2	ない	303	96.81%	480	88.89%	791	91.76%
	合計	313		540		862	

「1.ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	7	49	57
2	0	7	7
3	0	4	4
9	1	0	1

53. 輸血関連急性肺障害（TRALI）の症例報告について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤十字血液センターに報告した	14	10.61%	72	29.39%	87	22.89%
2	厚生労働省に報告した	1	0.76%	1	0.41%	2	0.53%
3	赤十字血液センターと厚生労働省の両方へ報告した	2	1.52%	7	2.86%	9	2.37%
4	両方とも報告をしていない	115	87.12%	165	67.35%	282	74.21%
	合計	132		245		380	

54. アナフィラキシー反応／重症アレルギー反応が過去1年間に発生しましたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	13	4.19%	123	22.95%	137	16.02%
2	ない	297	95.81%	413	77.05%	718	83.98%
	合計	310		536		855	

「1.ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	9	66	75
2	2	26	28
3	1	12	13
4	1	5	6
5	0	1	1
7	0	1	1
8	0	1	1
10	0	1	1
11	0	0	1
23	0	1	1
26	0	1	1

55. アナフィラキシー反応／重症アレルギー反応の症例報告について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤十字血液センターに報告した	17	12.50%	109	38.38%	127	30.09%
2	厚生労働省に報告した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	赤十字血液センターと厚生労働省の両方へ報告した	2	1.47%	13	4.58%	15	3.55%
4	両方とも報告をしていない	117	86.03%	162	57.04%	280	66.35%
	合計	136		284		422	

56. 過去1年間に輸血後GVHDを経験されましたか（疑い例も含む）

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	1	0.19%	1	0.12%
2	ない	310	100.00%	533	99.81%	852	99.88%
	合計	310		534		853	

「1.ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
2	0	1	1

57. 輸血後GVHDの症例報告について

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤十字血液センターに報告した	2	1.60%	9	4.71%	11	3.46%
2	厚生労働省に報告した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	赤十字血液センターと厚生労働省の両方へ報告した	2	1.60%	2	1.05%	4	1.26%
4	両方とも報告をしていない	121	96.80%	180	94.24%	303	95.28%
	合計	125		191		318	

58. 上記（問45～57）以外の副作用が過去1年間に発生しましたか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	57	19.52%	229	44.81%	289	35.64%
2	ない	235	80.48%	282	55.19%	522	64.36%
	合計	292		511		811	

「1.ある」場合、症例数

症例／年	300床未満	300床以上	全体（未記入含む）
1	17	19	36
2	5	19	24
3	7	17	24
4	1	11	12
5	5	5	10
6	1	5	6
7	0	7	7
8	1	6	7
9	0	4	4
10	2	6	9
11～20	4	29	33
21～30	2	13	15
31～40	0	12	12
41～50	1	9	10
51～100	0	20	20
101～200	0	13	13
201～300	1	4	5
301～400	0	1	1
728	0	1	1

59. 貴施設は厚生労働省「輸血用血液及び細胞療法の安全性に関する研究班」の輸血副作用管理指定施設ですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	3	1.00%	42	8.22%	45	5.49%
2	いいえ	297	99.00%	469	91.78%	775	94.51%
	合計	300		511		820	

3) 輸血療法委員会について

60. 輸血療法委員会又は同様の機能を持つ委員会がありますか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体（未記入含む）	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	272	85.53%	533	98.34%	813	93.56%
2	いいえ	39	12.26%	9	1.66%	49	5.64%
3	その他	7	2.20%	0	0.00%	7	0.81%
	合計	318		542		869	

その他記入一覧

300 床未満	
2007年1月より発足	1
以前はあったが、責任医師が不在のため現在は機能していない	1
医療安全委員会	2
医療安全対策委員会	1
何かあれば薬事委員会で話し合う	1
発足したばかり H19 年より	1
輸血療法委員会	1
輸血療法委員会と、毎月薬事委員会では輸血実施状況を報告	1
臨床検査適正化委員会の中で討議されている	1

300 床以上	
輸血管理委員会として行っている。	1
輸血管理室運営会議	1

61. 輸血療法委員会の 2006 年(1 月～12 月)の年間開催回数は

回/年	300 床未満	300 床以上	全体(未記入含む)
1 回	10	11	21
2 回	15	20	36
3 回	21	22	43
4 回	21	43	64
5 回	11	38	50
6 回	104	264	372
7 回	10	19	29
8 回	5	11	16
9 回	6	7	13
10 回	11	16	27
11 回	9	22	31
12 回	50	43	94
13 回	0	1	1
122 回	0	1	1

62. 輸血療法委員会の議事録がありますか

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	270	92.47%	531	99.44%	809	97.00%
2	ない	22	7.53%	3	0.56%	25	3.00%
	合計	292		534		834	

63. 病院会議等への報告は

番号	項目	300 床未満		300 床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	241	83.39%	491	91.95%	739	88.93%
2	していない	48	16.61%	43	8.05%	92	11.07%
	合計	289		534		831	

64. 委員会の構成は

人	外科系医師			内科系医師			中央部門医師			薬剤師		
	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体
0人	9	4	13	27	12	40	73	97	170	8	18	26
1人	133	104	238	143	190	337	49	171	220	234	440	682
2人	53	106	164	46	148	196	5	51	57	21	54	75
3人	32	107	140	11	70	81	4	24	28	2	5	7
4人	15	73	88	3	44	47	0	19	19	0	0	0
5人	5	38	43	2	17	19	0	5	5	1	0	1
6人	0	32	32	0	8	8	0	4	4	0	0	0
7人	1	15	16	1	4	5	1	2	3	0	0	0
8人	1	11	12	0	8	8	0	0	0	0	0	0
9人	0	4	4	0	2	2	0	1	1	0	0	0
10人	0	11	11	0	5	5	0	3	3	0	0	0
10↑	0	24	24	0	6	6	0	2	2	0	0	0

人	看護師			臨床検査技師			事務部門		
	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体	300未満	300以上	全体
0人	3	1	4	3	2	5	16	32	48
1人	51	114	165	143	155	302	178	321	502
2人	63	181	246	110	237	348	46	120	169
3人	45	103	151	22	103	127	9	26	35
4人	37	57	94	3	27	30	2	5	7
5人	35	27	62	0	3	4	2	1	3
6人	14	13	27	0	4	4	0	1	1
7人	15	8	23	0	2	2	0	0	0
8人	9	9	18	0	0	0	0	0	0
9人	2	4	6	0	0	0	0	0	0
10人	3	4	8	0	0	0	0	0	0
10↑	1	13	15	0	0	0	0	1	1

65. 過去1年間の委員会で議論した内容は 複数回答項目

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制	146	53.28%	301	56.69%	450	55.35%
2	輸血実施手順書	190	69.34%	330	62.15%	525	64.58%
3	24時間体制の確立	30	10.95%	78	14.69%	108	13.28%
4	自己血輸血の推進	66	24.09%	232	43.69%	300	36.90%
5	適正輸血実施状況	221	80.66%	488	91.90%	717	88.19%
6	問題症例の検討	75	27.37%	216	40.68%	292	35.92%
7	末梢血幹細胞採取	4	1.46%	27	5.08%	31	3.81%
8	院内採血	24	8.76%	65	12.24%	89	10.95%
9	輸血関連検査	136	49.64%	274	51.60%	412	50.68%
10	血液在庫体制	131	47.81%	262	49.34%	395	48.59%
11	インシデント報告	88	32.12%	254	47.83%	345	42.44%
12	コンピュータ管理・ 照合システム	41	14.96%	171	32.20%	212	26.08%
13	インフォームドコンセント	94	34.31%	210	39.55%	306	37.64%
14	週及調査	106	38.69%	278	52.35%	386	47.48%
15	血漿分画製剤の適正使用	123	44.89%	332	62.52%	458	56.33%
16	その他	63	22.99%	180	33.90%	243	29.89%

4) 『参照資料1：輸血療法委員会運用マニュアル(案)について』

66. 血液製剤の適正使用を具体的に実践するためのマニュアル作成、院内への周知は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	実施している	163	54.15%	328	62.12%	495	59.21%
2	実施する準備中	102	33.89%	140	26.52%	244	29.19%
3	実施する予定はない	36	11.96%	60	11.36%	97	11.60%
	合計	301		528		836	

67. 輸血医療に関与する医療関係者の役割分担と責任及び権限の明確化は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	既に確立している	91	30.74%	237	45.58%	330	40.15%
2	実行する準備中	127	42.91%	176	33.85%	306	37.23%
3	実施する予定はない	78	26.35%	107	20.58%	186	22.63%
	合計	296		520		822	

68. 本マニュアル(案)は輸血療法委員会の活動マニュアルとして

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	このまま利用する	78	27.27%	138	27.66%	221	27.90%
2	一部修正されれば利用する	141	49.30%	247	49.50%	389	49.12%
3	利用する予定はない	67	23.43%	114	22.85%	182	22.98%
	合計	286		499		792	

5) 輸血療法の実績について

69. 年間の輸血実施患者数は (2006年1月～12月)

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
同種血のみ	275	1	1316	132.24	36367	130.25
自己血のみ	179	1	289	24.06	4307	33.67
同種血、自己血併用	71	1	102	6.85	486	15.41
合計	248	1	1329	157.11	38963	143.49

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
同種血のみ	480	15	9825	567.83	272559	604
自己血のみ	475	1	917	96	45599	108.6
同種血、自己血併用	375	1	294	14.19	5320	26.46
合計	475	10	10179	678.48	322277	696.23

全体(未記入含む)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
同種血のみ	762	1	9825	409.58	312100	531.13
自己血のみ	661	1	917	76.34	50458	99.36
同種血、自己血併用	449	1	294	13.26	5955	25.83
合計	728	1	10179	497.22	361979	620.41

70. 製剤別血液製剤使用量 (2006年1月～12月)

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤(単位)	11	2	315	55.91	615	99.9
赤血球製剤(単位)	282	6	12180	865.66	244116	1055.11
血小板製剤(単位)	250	10	56680	1161.67	290418	4188.51
新鮮凍結血漿(単位)	239	2	7320	357.29	85392	653.68
自己血(単位)	190	1	608	88.79	16871	103.58
アルブミン製剤(g)	267	1.275	65125.5	5573.3	1488071.155	7025.82

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤(単位)	34	2	284	36.64	1245.8	68.83
赤血球製剤(単位)	530	70	26307	4204.86	2228576.7	3619.41
血小板製剤(単位)	527	15	122297	7569.36	3989053	10341.84
新鮮凍結血漿(単位)	525	2	35751	2521.18	1323621	3560.44
自己血(単位)	512	2	2569	367.82	188322.63	399.97
アルブミン製剤(g)	505	17.735	288860	30477.95	15391363.1	35840.99

全体（未記入含む）						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤（単位）	45	2	315	41.35	1860.8	76.75
赤血球製剤（単位）	819	6	26307	3037.51	2487721.7	3376.75
血小板製剤（単位）	784	10	122297	5478.25	4294946	9298.55
新鮮凍結血漿（単位）	771	2	35751	1849.38	1425873	3142.19
自己血（単位）	707	1	2569	291.3	205946.63	366.43
アルブミン製剤（g）	779	1.275	288860	21810.84	16990647.26	31509.11

71. 製剤別血液製剤廃棄量（2006年1月～12月）

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤（単位）	9	2	57	11.78	106	19.25
赤血球製剤（単位）	255	1	632	73.69	18790	86.92
血小板製剤（単位）	60	1	275	37.48	2249	47.94
新鮮凍結血漿（単位）	173	1	204	29.13	5039	31.27
自己血（単位）	118	1	302	14.23	1679	32.91
アルブミン製剤（g）	29	4	364.5	51.57	1495.5	79.69

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤（単位）	12	1	146	18.37	220.4	40.66
赤血球製剤（単位）	522	2	908	130.6	68175	125.66
血小板製剤（単位）	380	7	1057	58.68	22298	89.19
新鮮凍結血漿（単位）	503	2	693	54.63	27481	57.35
自己血（単位）	445	1	1120	55.51	24701	103.05
アルブミン製剤（g）	125	5	11404.5	227.8	28475.2	1243.3

全体（未記入含む）						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤（単位）	21	1	146	15.54	326.4	32.69
赤血球製剤（単位）	783	1	908	112.36	87975	118.49
血小板製剤（単位）	444	1	1057	56.38	25032	86.55
新鮮凍結血漿（単位）	682	1	693	47.89	32659	52.96
自己血（単位）	567	1	1120	46.6	26424	94.05
アルブミン製剤（g）	155	4	11404.5	193.62	30010.7	1118.36

72. 過去半年間の輸血用血液保険査定金額と請求金額に対する保険査定率（2006年4月～9月）

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
査定金額（万円）	81	0.4	57910	1268.16	102721.364	6892.87
査定率（%）	61	0.002	100	16.38	999.133	33.44

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
査定金額(万円)	247	0.1	57915	1188.26	293500.2964	5733.01
査定率(%)	195	0.0003	100	3.69	719.38565	13.25

全体(未記入含む)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
査定金額(万円)	330	0.1	57915	1202.07	396684.3368	6011.29
査定率(%)	257	0.0003	100	7.08	1818.51865	21.41

73. 院内同種血全血採血回数(のべ回数) (2006年1月~12月)

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採血回数	35	1	1657	133.37	4668	301.52

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採血回数	78	1	928	91.09	7105	158.77

全体(未記入含む)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採血回数	113	1	1657	104.19	11773	212.87

74. 末梢血幹細胞採取回数(のべ回数) (2006年1月~12月)

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採血回数	9	1	65	16.56	149	19.49

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採血回数	180	1	244	20.46	3683	30.07

全体(未記入含む)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採血回数	189	1	244	20.28	3832	29.63

75. 過去半年間のアルブミン製剤の保険査定金額と請求金額に対する保険査定率
(2006年4月~9月)

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
査定金額(万円)	123	0.4	34830	584.79	71928.763	4180.83
査定率(%)	103	0.003	103	12.81	1319.333	24.67

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
査定金額(万円)	303	0.1	45405	369.85	112063.071	2961.51
査定率(%)	259	0.000026	100	5.28	1367.164126	11.2

全体(未記入含む)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
査定金額(万円)	428	0.1	45405	431.57	184711.9168	3347.71
査定率(%)	363	0.000026	103	7.68	2786.497126	17.21

6) 貯血式自己血輸血について(1年間:2006.1.1~2006.12.31)

76. 貯血式自己血輸血の実績

300床未満						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血(単位)	177	1	569	89.66	15870	103.87
MAP(単位)	21	8	1476	162.76	3418	328.28
FFP(単位)	7	8	192	79.14	554	61.04
フィブリン糊(単位)	1	128	128	128	128	
血小板糊(単位)	0					

300床以上						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血(単位)	496	1	2238	331.68	164515.607	362.99
MAP(単位)	103	2	2151	231.51	23845.5	340.4
FFP(単位)	93	2	2339	241.45	22455.3	377.19
フィブリン糊(単位)	29	3	841	187.48	5437	234.99
血小板糊(単位)	6	2	240	54.17	325	92.24

全体(未記入含む)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血(単位)	680	1	2238	267.56	181940.607	332.56
MAP(単位)	125	2	2151	218.14	27267.5	337.25
FFP(単位)	100	2	2339	230.09	23009.3	366.29
フィブリン糊(単位)	30	3	841	185.5	5565	231.16
血小板糊(単位)	6	2	240	54.17	325	92.24

77. 貯血式自己血輸血の保存方法はどのようにしていますか 複数回答項目

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	主として全血保存	218	96.46%	507	95.48%	732	95.81%
2	主として成分保存 (赤血球成分/新鮮凍結血漿)	9	3.98%	52	9.79%	61	7.98%
3	主として凍結保存	0	0.00%	6	1.13%	6	0.79%

78. 静脈穿刺しているのは誰ですか

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	111	48.47%	320	59.93%	433	56.23%
2	看護師	70	30.57%	103	19.29%	175	22.73%
3	医師及び看護師	48	20.96%	111	20.79%	162	21.04%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合計	229		534		770	

79. 問78で1又は3の場合、静脈穿刺している医師は

番号	項目	300床未満		300床以上		全体(未記入含む)	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の医師	2	1.24%	25	5.81%	27	4.53%
2	担当医	154	95.65%	360	83.72%	518	86.91%
3	輸血部門の医師および担当医	3	1.86%	29	6.74%	32	5.37%
4	その他	2	1.24%	16	3.72%	19	3.19%
	合計	161		430		596	

その他記入一覧

未記入	
麻酔科医	1
300床未満	
血液腫瘍科医師	1
麻酔科医師	1
300床以上	
4科の医師が当番制で行っている	1
依頼科の医師	1
各科の看護師	1
血液内科医	1
血液内科医師	2
自己血採血室での採血を担当している臨床検査医学教室の医師と患者の担当医	1
主治医	2
診療科医師	1
診療科輪番制	1
担当医および研修医	1
当番医	1
日本輸血学会認定医	1
麻酔科医	3
輸血責任医師	1
輸血部及び血液内科医師	1